

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和 8 年 8 月 児湯農林振興局
(児湯農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P 2)
 - 1) リカレント研修のオンライン会場を設置【全域】
 - 2) 肉用牛繁殖部門基礎勉強会を開催【全域】
- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 2～4)
 - 1) 施設ピーマン労働力確保の仕組みづくりに向けた生産者及び西都市との意見交換会の開催【西都市】
 - 2) Dプロ推進に係る北諸県普及センターとの意見交換会【全域】
 - 3) 環境モニタリングデータを活用したR7年作ピーマンの振り返り【新富町】
 - 4) ピーマン特出しプロジェクト班会を実施【西都市】
 - 5) インターンシップの大学生と緑肥の調査を実施【高鍋町】
 - 6) ブロッコリーの播種開始【新富町】
 - 7) 青ゆず出荷前講習会【西米良村】
 - 8) 実需者によるゆず収穫作業の実証【西米良村】
 - 9) 若手ぶどう生産者グループの勉強会に参加【都農町】
 - 10) 「児湯地域の有機的農業推進について語る会」を開催【全域】
 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 5～6)
 - 1) 児湯地区農業者研修のスタートアップ研修を実施【全域】
 - 2) 就農計画作成研修会を開催【全域】
 - 3) 早期水稻種子の生産物審査を実施【西都市】
 - 4) 尾鈴地区本部にてトマト栽培についてのオンラインセミナーを実施【川南町、都農町】
 - 5) 尾鈴地区本部いちご部会現地検討会に参加【川南町】
 - 6) 尾鈴地区本部いちご部会青年部勉強会に参加【川南町・都農町】
 - 7) 尾鈴地区本部いちご部会女性部勉強会に参加【川南町・都農町】
 - 8) スイートピー発芽試験【川南町・都農町】
- III 参考 (P 6)
 - 8月の気象(宮崎气象台:西都市)

I 管内農業・農村の主な動き

1) リカレント研修のオンライン会場を設置【全域】

3日、10日、19日、20日、25日、26日、28日に農業総合研修センターで実施しているリカレント研修のオンライン会場を設置し、毎回約6名の研修生や農業者が普及センターで受講しました。8月で全12回にわたってリカレント研修は終了となりました。オンライン環境は良好で本会場と遜色なく、受講者の研修満足度は高いものとなりました。

2) 肉用牛繁殖部門基礎勉強会を開催【全域】

20日に普及センターで肉用牛繁殖部門基礎勉強会を開催し、児湯地域管内から5名が参加しました。夏の牧草と冬の牧草の違いと題して、牧草の品種や作付け方法、土壌分析の活用、雑草対策などを説明しました。

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1) 施設ピーマン労働力確保の仕組みづくりに向けた生産者及び西都市との意見交換会の開催【西都市】

8月中旬に3回、関係機関及び雇用している生産者との意見交換会を実施しました。特に生産者との意見交換会では、現在の雇用の状況及び欲しい人材についての意見を聞くことができました。現在の雇用は高齢化してきており、今後の雇用に不安があるとの意見が多く聞かれました。

これらの生産者の意見を参考に、西都市とともに今後の労働力について協議していきます。

2) Dプロ推進に係る北諸県普及センターとの意見交換会【全域】

Dプロの先進地である北諸県地域の推進体制や生産者主体のデータ活用手法を調査し、児湯地域における今後の活動の参考とする目的で意見交換会を実施しました。

意見交換会では北諸県地域のDプロ加入生産者の話も伺うことができ、データをみて栽培管理ができるようになると、栽培の振り返りがしやすく、また、技術指導も具体的にできるようになるとの意見をいただきました。

今回の意見交換で学んだことを今後のDプロの取組に活かしていけるよう関係機関と協力してまいります。

※Dプロ：施設園芸のデジタル化推進プロジェクト

3) 環境モニタリングデータを活用したR7年作ピーマンの振り返り【新富町】

20日にDプロ事業でモニタリング装置を導入しているJAみやざき児湯地区本部ピーマン専門部の生産者4名、関係機関2名で前作の振り返りおよび今作の活動内容について協議を行いました。

今作については、前作の振り返りをもとにした個人毎の課題をメンバーで共有しながら、月1回程度の現地検討会の中で環境データや生育調査結果を見ながら意見交換を行い、課題解決に取り組んでいく予定です。



【検討会の様子】

4) ピーマン特出しプロジェクト班会を実施【西都市】

17日にピーマン特出しプロジェクト班会を実施しました。
これまでの取り組みと今後の展開について共有し、意見交換を行いました。今後も関係機関と一体となった活動を行っていく予定です。



【班会の様子】

5) インターンシップの大学生と緑肥の調査を実施【高鍋町】

インターンシップの大学生と、緑肥（クロタラリア）の発芽状況について調査を行いました。インターンシップ生には、緑肥の効果について説明を行い、様々な効果に興味を示していました。

緑肥は約1ヶ月後にすき込み、10月に定植するキャベツの生育への影響を確認する予定です。

引き続き、キャベツ産地の維持・拡大に取り組んでまいります。



【調査の様子】

6) ブロッコリーの播種開始【新富町】

新富町の新田西地区のブロッコリーの播種が始まりました。

当地区では、農地整備に伴う高収益作物として導入が推進されており、本年は、8月19日より営農集団「新田アグリ」を中心に播種が始まりました。9月下旬より3.2haが定植され、12月から1月にかけて、農協果汁や組合等に加工用としての販売が計画されています。

引き続き、関係機関と連携をとりながら、省力化や安定生産、経営安定にむけて支援を行っていきます。



【育苗の様子】

7) 青ゆず出荷前講習会【西米良村】

18日にJA出荷場で青ゆず加工出荷前講習会が開催され、生産者、JA、村、(有)米良食品、宮崎県農協果汁(株)、普及センター・駐在が出席しました。

駐在からは青ゆず収穫期の管理について説明しました。

24日からは青ゆずの加工用の出荷も始まり、今年は表年で多くの出荷が期待されているので楽しみです。



【講習会の様子】

8) 実需者によるゆず収穫作業の実証【西米良村】

18日に宮崎県農協果汁（株）からゆず部会員に対し、ゆず収穫作業の実証に係る取組みの説明が行われました。その後、実証ほ場の生産者を交え、日程や作業内容など具体的な検討会を実施しました。

本実証は10月27日～11月5日の10日間で、村内外から広く人員を募り、収穫作業の実証を行う予定です。



【農協果汁からゆず部会員
への説明の様子】

9) 若手ぶどう生産者グループの勉強会に参加【都農町】

25日に尾鈴地区の若手ぶどう生産者グループ「Osuzu Vines」の勉強会が開催され、生産者約10名、JA指導員、普及センターが参加しました。普及センターからは、ブドウ房枯病の診断方法や対策についての講習と自走式スピードスプレーヤーについて情報提供を行いました。

今後も引き続き、グループ活動の支援を行っていきます。



【勉強会の様子】

10) 「児湯地域の有機的農業推進について語る会」を開催【全域】

26日に、「児湯地域の有機的農業推進について語る会」を開催しました。

合同会社オーガニックファームZ E R Oと新富町畜産バイオマス利活用協議会から、有機農業や地域未利用資源利活用（消化液）の事例紹介をしていただきました。

また、高鍋・木城有機農業推進協議会等から、これまでの有機農業に関する取組状況や今後の計画等を紹介していただきました。

その後は意見交換を行い、参加者からは「地域でこのような取組があるのを初めて知った」、「それぞれの点の活動が線でつながるよう、今後もこのような会を続けて欲しい」等の意見がありました。

今後も、地域における未利用資源の活用や有機的農業への取組が更に広がるよう、このような場を設け、情報提供や意見交換を行う予定です。



【有機農業の事例紹介の様
子】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1) 児湯地区農業者研修のスタートアップ研修を実施【全域】

児湯地区農業者研修のスタートアップ研修の一環として、17日に「農業経営のはじめ」、31日に「農業に関する支援とは」を開催しました。農業共済組合職員、児湯農林振興局及び普及センター職員が講師となり、農業経営を開始するにあたり、経営面で注意すべきことや経営の基礎、農業に係る制度等について研修しました。

受講者からは、減価償却費などの考え方について知ることができたなどの感想をいただき、有意義な研修会となりました。



【8月17日研修会の様子】

2) 就農計画作成研修会を開催【全域】

6日に児湯農業改良普及センターで第1回就農計画作成研修会を開催しました。

本研修は、研修生等を対象に5回シリーズで実施しており、普及センター職員から就農に向けた準備や各種支援制度、就農に向けたスケジュールを説明し、就農予定者や関係機関24名が参加しました。

また、先輩農業者の講話として、令和5年度に川南町において施設ピーマンで就農した青鹿農園の佐師香恋氏より、就農計画や経営計画等の重要性について話をいただきました。

次回の就農計画作成研修会は10月14日に開催予定です。



【研修会の講話の様子】

3) 早期水稻種子の生産物審査を実施【西都市】

7月下旬から9月中旬にかけて、早期水稻種子の生産物審査を行っています。外観審査（粳の見た目と玄米の見た目）を行い、合格基準を満たしたもので発芽試験を行います。発芽試験では、90%以上の発芽率を満たした種子が生産者の皆様のもとへ届きます。最後まで良質な種子生産を行っていきます。

4) 尾鈴地区本部にてトマト栽培についてのオンラインセミナーを実施【川南町、都農町】

4日にJAみやざき尾鈴地区本部にて、トマト類のオンラインセミナーを実施し、生産者15名が参加しました。

今回の内容は、「植物生理を踏まえたかん水について」でしたが、参加した生産者は熱心に聴講されており、具体的なかん水チューブの設置についてなどの質問が挙げられました。

今後もトマト類生産者を支援していきます。



【勉強会の様子】

5) 尾鈴地区本部いちご部会現地検討会に参加【川南町】

28日にJAみやざき尾鈴地区本部いちご部会（矢研支部・川南支部）の現地検討会が開催されました。JA、普及センターが参加し、生産者と共に13ほ場を巡回し、育苗状況の確認を行いました。

それぞれの育苗状況を確認しながら、生産者同士でも活発な意見交換が行われました。今後もいちご部会を支援していきます。



【現地検討会の様子】

6) 尾鈴地区本部いちご部会青年部勉強会に参加【川南町・都農町】

31日にいちご部会青年部の研修会が実施されました。
今回の研修会では、青年部が今作から導入を始めた新品種の生産ほ場の視察を行いました。品種の栽培特性や注意点について活発な質問が挙げられ、有意義な視察研修になりました。今後もいちご部会を支援していきます。



【視察研修の様子】

7) 尾鈴地区本部いちご部会女性部勉強会に参加【川南町・都農町】

7日にいちご部会女性部勉強会が開催され、10名の生産者と普及センター、JAが参加し、普及センターから「育苗期のかん水や施肥管理」について講義を行いました。
参加した生産者からは具体的な管理についての活発な質問が挙げられ、理解が深まりました。今後もいちご部会を支援していきます。



【勉強会の様子】

8) スイートピー発芽試験【川南町・都農町】

児湯管内では9月上旬からスイートピーの植え付けが始まりますが、それに先駆けて8月上旬から種子の催芽、冷蔵が開始されます。例年、種子の発芽率が問題となるケースがあるため、よりよい催芽を行うために、発芽を促進する資材等を用いた試験を実施しました。今後もよりよい催芽を行うため、最適な方法を試していきたいと思います。



【試験の様子】

III 参考

8月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	28.6	28.4	27.6	68.5	67.5	114.7	53.0	69.5	67.5
中旬	27.1	28.1	27.6	14.5	5.0	75.0	85.6	90.2	63.7
下旬	28.0	28.1	27.0	43.5	12.0	74.5	84.5	82.9	69.9
月	27.9	28.2	27.4	126.5	84.5	272.8	223.1	242.6	199.3

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい! 伝えたい! 相談したい!」にお応えします!



宮崎県 農林水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- ➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供!
- ➡ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信!
- ➡ 皆さまの思いや意見を集約!

ひなたMAFiN

検索



メルマガ登録はこちら